

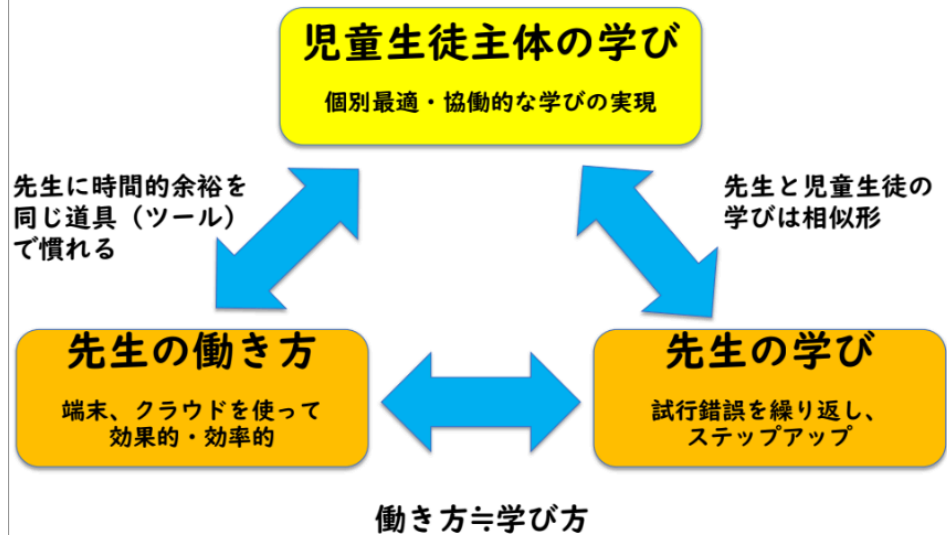
校内研究だより④

令和7年度
発行日
6/13(金)

「生成AIを利活用した業務改革」

先日、生成AIを校務に生かすための研修が行われました。授業においてもICTを効果的に活用し、子ども達の情報活用能力を養っていかれたらと思います。

うまくいっている学校の実践



情報活用能力の育成強化



学習指導要領では、「情報活用能力（情報モラルを含む）」を言語能力、問題発見・解決能力とともに学習の基盤となる資質・能力として位置付けています。

生成AIが更に社会生活に組み込まれていくことを念頭に置き、発達の段階や各学校段階、児童生徒を取り巻く環境や地域の実情等を踏まえつつ、情報モラルを含む情報活用能力の育成を一層充実させていく必要があります。

情報モラル教育の充実



情報発信の影響

情報発信による他人や社会への影響について考えさせる学習活動



ルールとマナー

ネットワーク上のルールやマナーを守ることの意味について考えさせる学習活動



権利の尊重

情報には自他の権利があることを考えさせる学習活動



情報の真偽

情報には誤ったものや危険なものがあることを考えさせる学習活動

生成AIの普及により偽情報が増加するといった指摘もある中においては、**発達**の段階に応じた児童生徒の情報モラルを育成することがますます重要です。

生成AIの特徴を踏まえれば、情報の真偽を確かめる（いわゆるファクトチェック）方法等もこれらの活動の一環として意識的に学んでいくことが望ましいでしょう。

